

ルーブリック評価表 Step3

学習目標	I. チームの目標達成のために、チーム内の対立を解決できる、II. 対立及び対立の解決について説明でき、チームで生じている対立に気づくことができる、IV. 複数の問題解決案の中から、患者・サービス利用者らの意思を尊重した最も良い方法を、チームとして選択できる、VI. 学生として現在保有している専門的知識と判断に基づいて、チームメンバーに意見を述べることができる							
観点	取り組み・成果の説明と責任		患者を尊重した治療・ケアの提供	チーム運営のスキル及び目標達成のための行動	コミュニケーション（効果的に伝える工夫・配慮）			
観点の説明	成果のまとめ方 学習・取り組みの有機的な関連づけ、体系的まとめ、具体性、発表構成 (発言していない学生の行動・態度も踏まえ総合的に判断する。)	グループメンバー個々人の責任 個々人の役割認識、積極性、プレゼンテーション・質疑応答での言動	多様な価値観の理解 対立の背景としてある、患者やその家族それぞれの価値観、信念、前提等を理解している	患者を尊重した解決策 対立の解決策が、患者やその家族のQOL向上、最善の利益の達成を根拠に選択されている	自分たちのチームの対立分析・解決 自分たちのチームで生じた対立の分析と解決プロセス、または対立が生じなかった理由について考察している	話し方 態度、言葉遣い、声の大きさ、速さ	提示資料の見やすさ 文字の大きさ、色、図表の活用（口頭発表が主体であり、提示資料は理解を深める補助的なものとする。）	質疑応答 質問の意味の理解、明確な回答、誠実な態度、回答の根拠
レベル4	事例の内容と講義・文献・経験等を <u>うまく関連付け</u> 、チームの思考プロセスやその根拠を <u>体系的にまとめている</u>	各メンバーが 自らの役割を意識し、 <u>積極的に</u> プレゼンテーション・質疑応答に取り組んでいる	患者やその家族それぞれの価値観、信念、前提等の理解に加え、 <u>信頼不足</u> 、 <u>コミュニケーションのズレ</u> 、 <u>専門職の発達段階の違い</u> 等も理解している	患者やその家族のQOL向上、最善の利益の達成を根拠に対立の解決策が選択されており、 <u>不利益を被る者がいないよう具体策が練られ</u> ている	自分たちのチームで生じた対立の分析と解決プロセス（対立が生じなかった場合は、その理由の分析と今後の課題等）を、 <u>今後専門職としてチーム運営にかかわる場面に</u> 関連づけて考察している	話し手としての態度、言葉遣い、声の大きさ、速さ等が 非常によく、聞き手が引き込まれる	文字、図表、イラスト等が 効果的に 活用されている。 理解を深め、インパクトが残る スライドである	質問の意図に沿って誠実に回答しているだけでなく、 根拠が示され説得力のある回答 がされている
レベル3 (標準)	事例の内容と講義・文献・経験等を <u>関連付けて具体的にまとめている</u>	各メンバーが 自らの役割を果たしている (話者以外も関与しているという態度が見られる)	患者やその家族それぞれの価値観、信念、前提等を理解している	患者やその家族のQOL向上、最善の利益の達成を根拠に対立の解决策が選択されている	自分たちのチームで生じた対立の分析と解決プロセス（対立が生じなかった場合は、その理由の分析と今後の課題等）を、 <u>学生なりの視点で</u> 考察している	話し手としての態度、言葉遣い、声の大きさ、速さ等が 適切で、聞きやすい	文字、図表、イラスト等が活用され、 発表内容の理解を助けている	質問の 意図に沿って、誠実に回答 している
レベル2	事例の内容と講義・文献・経験等の <u>関連づけが弱く、理解しづらい</u>	<u>一部のメンバーが</u> 積極的にプレゼンテーション・質疑応答に取り組んでいる (話者以外が他人事のような態度である等)	患者やその家族それぞれの価値観、信念、前提等を一部理解している	患者やその家族のQOL向上、最善の利益の達成を根拠に対立の解決策が選択されているが、 <u>考慮すべき点に抜け漏れがある</u>	自分たちのチームで生じた対立の分析と解決プロセス（対立が生じなかった場合は、その理由の分析と今後の課題等）の、 <u>考察が不十分</u> である	話し手としての態度、言葉遣い、声の大きさ、速さ等、 <u>適切でない部分があり、一部聞きにくい</u>	図表、イラスト等を使用しているが、 <u>内容理解に役立つものではない</u>	質問の意図を理解しているようだが、質問者の 観点からズレた回答 、または その場凌ぎの回答 をしている
レベル1	事例の内容とその他の取り組みが <u>関連付けられない</u>	プレゼンテーション・質疑応答に <u>積極的に取り組んでいるメンバーがいない</u>	患者やその家族それぞれの価値観、信念、前提等を理解できていない	患者やその家族のQOL向上、最善の利益の達成を根拠とした <u>解決策ではない</u>	自分たちのチームで生じた対立の分析と解決プロセス（対立が生じなかった場合はその理由の分析と今後の課題等）について、 <u>述べられていない</u>	話し手としての態度、言葉遣い、声の大きさ、速さ等が 適切でなく、全体的に聞きにくい	図表、イラスト等の 使用がない	質問の 意図を理解していない